

<米山奨学生卓話ガイダンス>

地区米山記念奨学会委員会

重要：卓話は何のために行うのか

皆さんが受け取ることになる米山奨学金は、日本のロータリアンからの寄付金だけを原資としています。つまり、ロータリアンとは、米山奨学制度にとっての唯一かつ最大の支援者です。ロータリアンたちが寄付金を出さなくなれば米山奨学金はなくなる運命にあります。

卓話とは、このような大事な存在であるロータリアンたちに、皆さんの人間の素晴らしさを見てもらい、米山奨学事業とは大切な事業であると理解してもらい、米山奨学金として寄付を行う行為を有意義なものとして認識してもらおう大事な機会なのです。

地区内には84のロータリークラブがあります。その中の27クラブは、世話クラブとして皆さんとの交流があり奨学生を身近に感じることが出来ますが、その他の57クラブは、そうではないのが現状です。そこで、皆さんにできるだけ多くのクラブで卓話していただきたいと、我々は考えています。

皆さんは当地区の定めた選定基準に照らして、厳しい選考の結果、米山奨学生として相応しい人物として選ばれた人たちです。したがって、皆さんの人物そのものを素直に出してもらえば基本的に大丈夫です。ただ、ロータリアンたちは、企業の経営者であったり、社会の中で重要な地位・立場にいる人たちが多く、人物を見る目は肥えていますし、礼儀等についてもしっかりと見定めていると思います。

そこで、しっかりと礼儀を尽くす（具体的には、しっかりと目を見て挨拶する、何かいただいたときにはお礼を申し上げる、遅刻しない、話が終わった後には聴衆に礼を述べるなど）ことがまず重要です。

次には、ロータリアンたちとの交流に積極的な姿勢を、卓話のときだけでなく、ずっと、維持することが必要です。これは、当地区の米山奨学生選考基準に挙げられていることでもあります。

あとは、ロータリアンたちが、自分たちが支援していること（寄付していること）はとても有意義なのだと思えるような内容にしてください。その具体的なやり方については自分で考えてください。

下記の項目は最低限含めましょう

- ・自己紹介：自分の専門分野、出身国の状況、家族、自分と日本とのかかわりあい
- ・ロータリアンとの交流で楽しみにしていること
- ・日本にいる間に学業以外で学んでおきたいこと
- ・将来の自分の専門分野での計画
- ・将来の国際交流についての考え方
- ・ロータリアン、世話クラブやカウンセラーとの将来像

諸注意

- ・各クラブから地区米山記念奨学会委員会(地区米山委員会)に対して卓話の依頼があった際、地区米山委員会から皆さんに対し、適性・場所・時間の都合等を勘案した上で個別に割振り依頼します。その際に必要となりますので、各自届け出ているEメールアドレスは必ず連絡がとれる状態にしておいてください。またEメールアドレス等に変更がある場合には、遅滞なく地区米山委員会（別紙：委員会連絡先一覧：担当 時田）まで報告してください。
- ・もし卓話をクラブから奨学生が直接依頼された場合には、地区米山委員会に事前に報告してください。地区米山委員が可能な限り随伴します。
- ・卓話を依頼される場合、初めての会場の場合には、場所、行き方、所要時間を事前に十分にリサーチしてください。当日は例会開始前の30分前には到着するように、余裕をもって出てください。
- ・卓話でパワーポイント等を使う場合には、パソコン・プロジェクタの準備、また印刷物を配りたい時の準備などについては、事前の打ち合わせが必要です。これらについても、地区米山委員会と連絡をとり確認してください。
- ・卓話内容の原稿を作成し、卓話に先立ち地区米山委員会に提出してください。多くの場合、卓話終了後に、話の内容の原稿をデータとして頼まれるようです。これは各ロータリークラブで例会時に渡す週報に載せるためのものです。A4版で1枚程度にまとめる程度で結構です。

以上、卓話での大成功を祈っております。